



令和7年11月19日

南陽市議会議長 遠藤 榮吉 殿

保守公明クラブ
会派会長 山口 裕昭

令和7年度 会派先進地等調査の報告について

このことについて、次により先進地等調査を実施いたしましたので、南陽市政務活動費に関する内規第4条の規定により報告いたします。

項目	調査・研修内容
調査期日	令和7年 9月24日(水)から26日(金)まで2泊3日
調査場所	① 福岡県添田町議会 ② 佐賀県佐賀市 株式会社かわでん
調査目的	① 日田彦山線のBRTに関する町の取組みについて ② 株式会社かわでん 九州工場の現地視察について
調査概要	別紙のとおり
その他	

令和7年度

南陽市議会 保守公明クラブ 会派行政視察研修

令和7年 9月24日(水)～26日(金)

行政視察研修 参加者

会 長	山口	裕昭	
副会長	伊藤	英司	
	外山	弘樹	
	佐藤	信行	
	中村	孝律	
	佐藤	和広	
	大友	太朗	
議 長	遠藤	榮吉	(無会派)
副議長	島津	善衛門	(無会派)

【日 程】

24日（水） 福岡県 添田町

添田町役場

目的 「日田彦山線のBRTに関する町の取組みについて」

添田町役場にて

添 田 町 長 寺西 明男 氏

添田町議会議長 畠田 勝廣 氏

25日（木） 佐賀県 佐賀市

株式会社かわでん九州工場

目的 「工場視察と南陽市との今後の方向性について」

九州工場にて

取締役会長 相澤 利雄 氏

取締役専務 武田 昌弘 氏

取締役常務 江頭 俊朗 氏

元取締役 中村 勝昭 氏

同日 佐賀県 武雄市

武雄市立図書館・こども図書館

目的 「新しいスタイルの図書館の現状について」

24日(水) 福岡県 添田町

目的 「日田彦山線のBRTに関する町の取組みについて」

会場 添田町役場にて

対応者 添田町長 寺西 明男 氏

添田町議会議長 畠田 勝廣 氏

●視察目的

「日田彦山線のBRTに関する町の取組みについて」

南陽市では、第3セクターが運営する山形鉄道フラワー長井線が運行しているが、売り上げが上がり、存続の危機に直面していること、車輛自体も老朽化していることから、BRTが現実的な選択肢として浮上。

市民の移動交通手段としてBRTを勉強し、導入の可否を検討する目的。

●添田町長

経緯 平成29年7月の九州北部豪雨により甚大な被害を受けたJR日田彦山線の一部区間について鉄道による復旧ではなく、バス高速輸送システム(BRT)である「ひこぼしライン」を導入した。これは単なる代替交通ではなく、地域の未来を見据えた新しい公共交通の形として位置づけられている。

●担当者からの説明

豪雨災害からの(BRT)「ひこぼしライン」開業までの経緯

◇被害状況

日田彦山線の豊田駅から夜明け駅間が63カ所で被災。被害総額は約70億円と試算された。

- ①平成29年7月の九州北部豪雨災害でJR日田彦山線が被災したことが発端
- ②復旧には莫大な費用と時間を要するため、JR九州と沿線自治体で協議を重ねる
- ③鉄道での復旧ではなく、BRT(バス高速輸送システム)という新たな選択肢で合意
- ④BRTの愛称を「彦星ライン」に決定
- ⑤令和5年8月に運行を開始

※当初は鉄道復旧を望む声が多かったが、地域の持続可能を重視し、幾度も検討、説明をおこないBRT導入に決定

※住民の移動手段確保と、観光資源としての活用が期待

●(BRT)ひこぼしライン乗車体験

添田町役場での研修会を終え、添田駅から夜明け駅までの9区間を実際に乗車体験した。

はじめは一般道路を走行、途中からBRT専用道路(鉄道ルート)を走行し、再度一般道に入り住宅街を走行した。

車両は小型電気バスとディーゼルバスがあるが、今回は小型電気バスに乗車した。

●感想

添田駅は鉄道とBRTバスの乗り換えの駅であり、ホームをまたいで電車とバスが並ぶ光景

は圧巻であった。

小型電気バスは、乗り口が低床でノンステップ仕様の為、高齢者や幼い子供、障害のある方にも優しい設計となっている。

また、座席にはUSB充電ポートも設置されており、利用者はスマホ等の充電もできるようになっている。

運行はスムーズで、道路とは違う沿線の専用道路は新鮮で感動した。

たまたま一緒に乗車したご婦人お二人にもお話をお聞きしたが、電車の時は本数が少なく不便を感じていたが、今はとても便利になったと笑顔で話されたことがとても印象的であった。

今回の視察で感じたことは、BRT「バス高速輸送システム」導入には、現状の課題を明確化し、利用促進はもとより、利便性、維持費の軽減、観光促進、交流人口などの様々な視点において検討する必要がある、地域住民の声をしっかり聴くこと、BRTシステムを理解していただけるよう説明会等が、とても重要であると感じた。

本市の将来に向けた交通手段の在り方と、フラワー長井線の沿線地域の為になる方策を今後一層検討することが重要と感じた。



小型電気バス



元は列車用トンネル



日田彦山線BRT
ひこぼしライン
HIKOBOSHI LINE



日田彦山線の石橋

25日(水) 佐賀県 佐賀市

目的 「工場視察と南陽市との今後の方向性について」

会場 株式会社かわでん九州工場にて

対応者 取締役会長 相澤 利雄 氏

取締役専務 武田 昌宏 氏

取締役常務 江頭 俊朗 氏

元取締役員 中村 勝昭 氏

●視察目的

「本社工場が南陽市にあることからの感謝と御礼の視察訪問」

南陽市に本社工場がある「株式会社かわでん」様の重要拠点である九州工場の見学と、相澤取締役会長をはじめとする役員の方々への感謝と、率直な意見交換を目的。

●相澤取締役会長

南陽市議会の視察に感謝の言葉をいただき、会社の状況や、九州工場の概要や、地域との係り等についてお話をお聞きした。

●山口会派会長、遠藤議長 謝辞

「かわでん」の創立100周年への祝辞と、これまでの功績、本市に対する貢献に深く感謝を申し上げた。

●江頭取締役常務

別室に移り、来年3月に創立100周年を迎えることから、これまでの経緯をプロモーションビデオにて説明された。

●工場見学

江頭取締役常務と担当者の付き添いで、工場内を詳しく説明していただいた。

●記念撮影

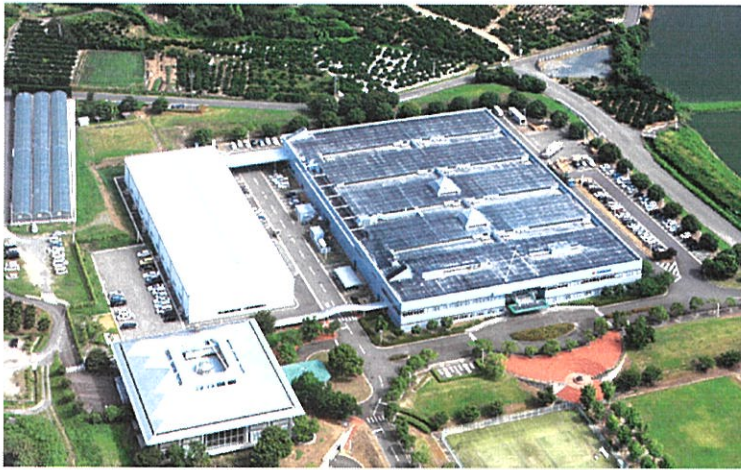
最後に、芸術家の岡本太郎氏のオブジェを背に全員で記念撮影を行った。

●感想

本市における「かわでん」の存在は、とても重要であり、無くてはならない企業であること。今後の係わり方の重要性を痛感し、議会として最重要事項として対応していく事を確認した。役員の方々から貴重な話を聞いたこと、打ち解けての対話ができただことは、九州工場に足を運んだからこそであり、充実した懇談ができたことに心から感謝申し上げたい。



株式会社 かわでん九州工場



株式会社 かわでん九州工場 上空写真



工場視察



役員の皆様と記念撮影



25日(水) 佐賀県 武雄市

目的 「新しいスタイルの図書館の現状について」

会場 武雄市立図書館・こども図書館にて

●視察目的

「新しいスタイルの図書館の現状について」

●施設内見学

「市立図書館」「こども図書館」内の見学

●感想

「図書館らしくない図書館」を目指し、設計、建設された武雄市立図書館と、こども図書館は、外観も今までの図書館というイメージとはかけ離れたおしゃれなデザインであり、図書館内部の大きさと、冊数、レイアウトに驚くばかりでした。また館内には「蔦屋書店」「スターボックス」が入店しており、飲み物を飲みながら、読書や会話ができ、居心地が良くて時

間が経つのを忘れるほどでした。

「こども図書館」にはパンケーキカフェがあり、子どもは勿論、大人もゆっくりくつろげる空間でした。

視察は年間200件にも及ぶとのことで、その注目度もわかりますし、図書館改革を行った先進的で斬新な施設でした。



武雄市図書館



武雄市図書館内部



隣接する「こども図書館」



こども図書館内部

最後に

今回の視察は、時間にあまり余裕が無かったが、現地に足を運んだことで得られたことは、何にも代えられないものであり、実り多い視察となった。

本市の抱える課題、問題に会派としてしっかり取り組んでいきたいと思う。

保守公明クラブ 会長 山口 裕昭